

中学ノーマリー教室について

車椅子バスケットチームHarder'sの皆さん、函館市人権擁護委員会の林事務局長・藤井こども人権委員長が来て下さいました!!

記：南先生

10月11日（金）中学のノーマリー教室が行われました。今年のテーマは「パラスポーツと障がい者の人権を学ぶ」。小体育館では市内の車椅子バスケットチームHarder'sの皆さんから車椅子バスケットのお話を聞き、競技の様子を見せていただき、実際に競技用車椅子に乗せていただきました。本館講堂では函館市人権擁護委員会の林事務局長様が人権擁護についてわかりやすくお話して下さいました。

車椅子バスケット選手の皆さんと一緒にプレイをしたのは得難い経験でした。後半のエキシビジョンマッチはおおいに盛り上がっていました。人権のお話では、日常生活で起こりうる場面について具体的に考え発言していました。どちらも充実した時間でした。

とてもよかったと思ったのは、皆さんの取り組みや真剣な表情、明るい笑顔を講師の方々、選手の皆さんが喜んでくださったことです。人権のお話にあった「お互い支え合うこと」の一つなのかなと感じました。

中学生の皆さんが障がいを持つ方の生活や気持ち、そして「人権」について考え、遠いことではない「自分のこと」として向き合った今日のプログラム。多くの実りがあり、これからの生活に生かされますように。



生徒さんの感想の一部

「車椅子バスケットは、障害がある人もない人も楽しめるスポーツだということがわかりました。車椅子に乗ったとき、勝手に動き出してびっくりしました。また、まっすぐに動かすのも難しかったのに、ハダーズの皆さんは、くるくる回ったり、すごい速さで動かしたりしていて、すごかったです。シュートを一度も決められなかったので、少し悔しいです。」

「今まで障害者の方が道端で困ったりしていても何をしてあげたらいいのかわからず話しかけることが出来ませんでした。ですが今回の人権に関するお話を聞いて障害者の方はこういうことで悩んでるんだなと学ぶ機会になってとても勉強になりました。また障害者への差別などが酷いなと思いました。障害者の方でも心地よい生活を送れるといいなと思います。今後障害者の方が困っていたら自分から積極的に話しかけに行って少しでも助けになればいいです。」

2024年10月13日(日)